

研究課題 (テーマ)		「鉄は熱いうちに打て！」プロジェクトの充実 ー県内就職支援は1年教養ゼミでの産学協働型アクティブラーニングからー		
研究者	所属学科等	職	氏名	
代表者	教養教育センター	准教授	清水 義彦	

研究結果の概要

(概要)

本プログラムは、令和元年度前期・後期の教養ゼミ I (清水担当) 30 コマで実施した。前期は、4つのチームに分かれ、2つの企業と5コマずつ協働する課題解決型のキャリア教育プログラムを遂行した。目指したのは、社会の求める力と学生の今の力との差を知ること、富山県内にも魅力ある企業があることを知ること、そして「大学で学ぶ意義」に気づき、目的をもって日々の授業に取り組む態度、学生の「主体性」を引出す「場」の創出であった。後期は引き出された学生の主体性を活かして、滑川市内でSDGsに取り組む企業取材し冊子にまとめ発刊した。ゼミ生一人ひとりが滑川市役所職員とチームを組みSDGsの17のゴールに取り組む企業を選定し、県内企業の魅力に触れ、各自のキャリアの形成の一助になる活動を目指した。COC成果発表会後の学生コメントを見ると、富山県の企業を知るいい機会となったようである。



(結果と考察)

今回の効果検証の指標の1つとして、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力である「社会人基礎力」(経済産業省,2006)を評価指標として用い学生の意識の変化を見たところ、今回引き出したかった「主体性」、「実行力」に1%水準で有意差(効果量大)が現れた。詳細は、「富山県立大学紀要第30巻」掲載論文をご参照いただきたい。

No.	質問項目	開始前		終了時		対応サンプルの差		t	df	有意確率 p	効果量 d
		M	SD	M	SD	M	SD				
■前に踏み出す力(アクション)～事前に踏み出し、失敗しても振り返り取り組む力～											
1	主体性(物事に進んで取り組む力)	2.50	0.67	3.17	0.58	0.67	0.49	4.69	11	.001 **	1.06 大
2	働きかけ力(他人に働きかけ巻き込む力)	2.33	0.89	2.58	0.67	0.25	1.14	0.76	11	.463	0.32
3	実行力(目的を設定し確実に行動する力)	2.17	0.72	3.00	0.74	0.83	0.72	4.02	11	.002 **	1.14 大
■考え抜く力(シンキング)～疑問を持ち、考え抜く力～											
4	課題発見力(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)	2.58	0.51	2.75	0.62	0.17	0.58	1.00	11	.339	0.29
5	計画力(課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力)	2.25	0.75	2.83	0.72	0.58	0.90	2.24	11	.046 *	0.79 中
6	創造力(新しい価値を生み出す力)	2.00	0.74	2.33	0.49	0.33	0.49	2.35	11	.039 *	0.53 中
■チームで働く力(チームワーク)～多様な人びととともに、目標に向けて努力する力～											
7	発信力(自分の意見をわかりやすく伝える力)	2.17	0.94	2.83	0.94	0.67	0.89	2.60	11	.025 *	0.71 中
8	傾聴力(相手の意見を丁寧に聴く力)	3.42	0.51	3.50	0.67	0.08	0.79	0.36	11	.723	0.14
9	柔軟性(意見の違いや立場の違いを理解する力)	2.92	0.67	3.08	0.79	0.17	1.11	0.52	11	.615	0.23
10	状況把握力(自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力)	3.00	0.60	3.25	0.75	0.25	0.87	1.00	11	.339	0.37
11	規律性(社会のルールや人との約束を守る力)	3.17	0.72	2.75	1.06	-0.42	0.67	-2.16	11	.054 #	0.46 小

今後の展開

教養ゼミで、学生が企業人との協働を通して、主体的に課題解決する能力「工学心」を持った人材の育成を目指す。そして、地(知)の拠点(COC)事業とベクトルを合わせたキャリア支援プログラムの1つとして恒常的な位置づけとなるよう令和2年度も引き続き、北陸コカ・コーラボトリング(株)とコーセル(株)と協働する。